

# ニュースレター デンタルタイムズ

第10号  
編集者 荒川美和子

## 2007〜2008

どーも、小島です。



「正直な話、2007年は、自分自身で驚いています。自他共に認める発明家<sup>①</sup>の私が、こんなに世の中から脚光を浴びた年は、初めてだからです。

手前味噌ですが、特許を8項目所有していたり、その他、実用新案などを持っているのですが、世の中それほど甘いものではなく、早い話が、テレビに出てくるような儲け話は、無く申請料がかさみ、赤字は否めないのです。



女房もあまされて、「まあ、ハハは、酒もタバコもやらないし、話半分で聞いていても、そのうち幸せになれそうなきがするから、好きにして〜」と、あまらめモードに突入したのは、遠い昔のことですし…最近では、5年生の娘までもが、「うさん臭そうに遠目で見るようになりました。

唯一、発明家の血を引いたのか、中一の息子だけが、近寄って来て「極秘の世界征服を夢見る会議」に参加してくれています。そんな小島家ですが、話は、10年前前に私がウィンドウス95を手に入れたころにさかのぼります。



「これを利用して、串者さんの意識改革をできないか?」と思いつく考案したソフトが、今頃になって

某会社の社長の目にとまり、製品化に向けて重<sup>カ</sup>き始めたのでした。そして、5月に衛生士の東雲が九州デンタルショーでプレゼンを行い、11月には、荒川と東雲の二人が、なんと歯科界のビッグイベントである東京デンタルショーにて講演するこ

みわこ

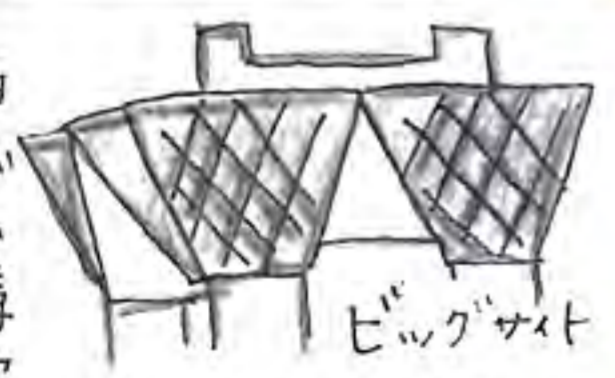


### 東京デンタルショーに出ちゃいました♡

文 荒川美和子

11月17・18日は、私、

荒川と東雲にとって亡<sup>バ</sup>れられない一日と なったのでした。な<sup>バ</sup>ぜって、あのデンタル



ショーで、講演を7回もしてしま

ったのですから……

しかも会場は、有明にある東京ビッグサイトですから、思い出すと、いまだに興奮が冷めません。

「あっ!! ひょっとして……」



レースクイーンのような格好をしたのではないかと、想像しませんでしたか?



「残り念!!」いつも皆さんが見慣れている白衣でのプレゼンでしたよ。

そもそも、なんで、講演などすることになったかといいますと……

日ごろ若松で、皆さんに行っている予防の取り組みが、クロスフィールド社の社長さんの目にとまったことが始まりでした。

若松では、当たり前前の予防システムは、多くの人達が



実は、見学に来ているのです。

近々、スウェーデンからも視察に来るほど、世界的に見ても優れた物なのですよ。

「若松の方法を日本国中に広めることができれば、国民がもっと幸せになれるはず!」



そんな思いを胸に、デンタルショーへの参加を決意したのでした。

ところが、いざ始めてみると……

超々大変!! 直前の2週間はスライド作り等で若松も出るのが、午前2時

をまわることは当たり前。

先生と帰り道に☆

オリオン座を見あげながら、静まり返った☆

さつき平を歩く日々が続く☆

なんと、朝日を見たことも……



まさか衛生士になって、仕事で徹夜

をするとは思っていませんでしたが、

私の作ったスライドが、日本の歯科

医療を亦変えていくかもしれないと思

うと、眠たいなんて言っていたら

のでした。



そんな日々が、前夜まで続いた為

お化粧のりが悪くなり

ニキビ(ふきでもの……)は、

労災の申請ができないかと

悩みながらビッグサイトへ

向かったのでした。

赤穂浪士 大石みわ介



# いざ、出陣!!

講演初日は、荒川・東雲と緒方

(歯科衛生士の卵)の3人で緊張しながら

ら2時間前に会場に入ると、大道具

さんや業者の出入りで、あわただし

いの一言。自分たちの居場所もなく、ウロウロしまくりです。

軽い打ち合わせを済ませ、いつもの

制服に着替えたところには、内装がほ

ぼ完成し、やる気モードへと突入し

たのですが……

緊張が絶頂になった

にもかかわらず、

お昼のカツカレーが

明らかに消化不良を

引き起こし、リハーサルも

無く、本番へと突入したのでした。

司会の紹介が、さっとなる緊張を誘い、

カツカレーの逆流を呼び、目が泳ぎ

まくっている自分に気がつきました。

そこで、若松で「タマゴ」との愛称で

呼ばれている緊張をほぐす、パルス

エッグを握り締めながら……



「全員カボチャさん!!」と言いつけ聞かせ

お立ち台へと上るのでした。

話し始めると、人が

ゾロゾロと集まりだし、

スライドで若松の写真が出ると

あまりのきれいにドクターや衛生士

から「歯医者じゃないみたい!!」

とのひそひそ声が、聞こえてくるのは

ありませんか!!

なんだかうれしくなって

ニヤニヤしながら

プレゼンを進めていくと

今度は、口の中が乾いて

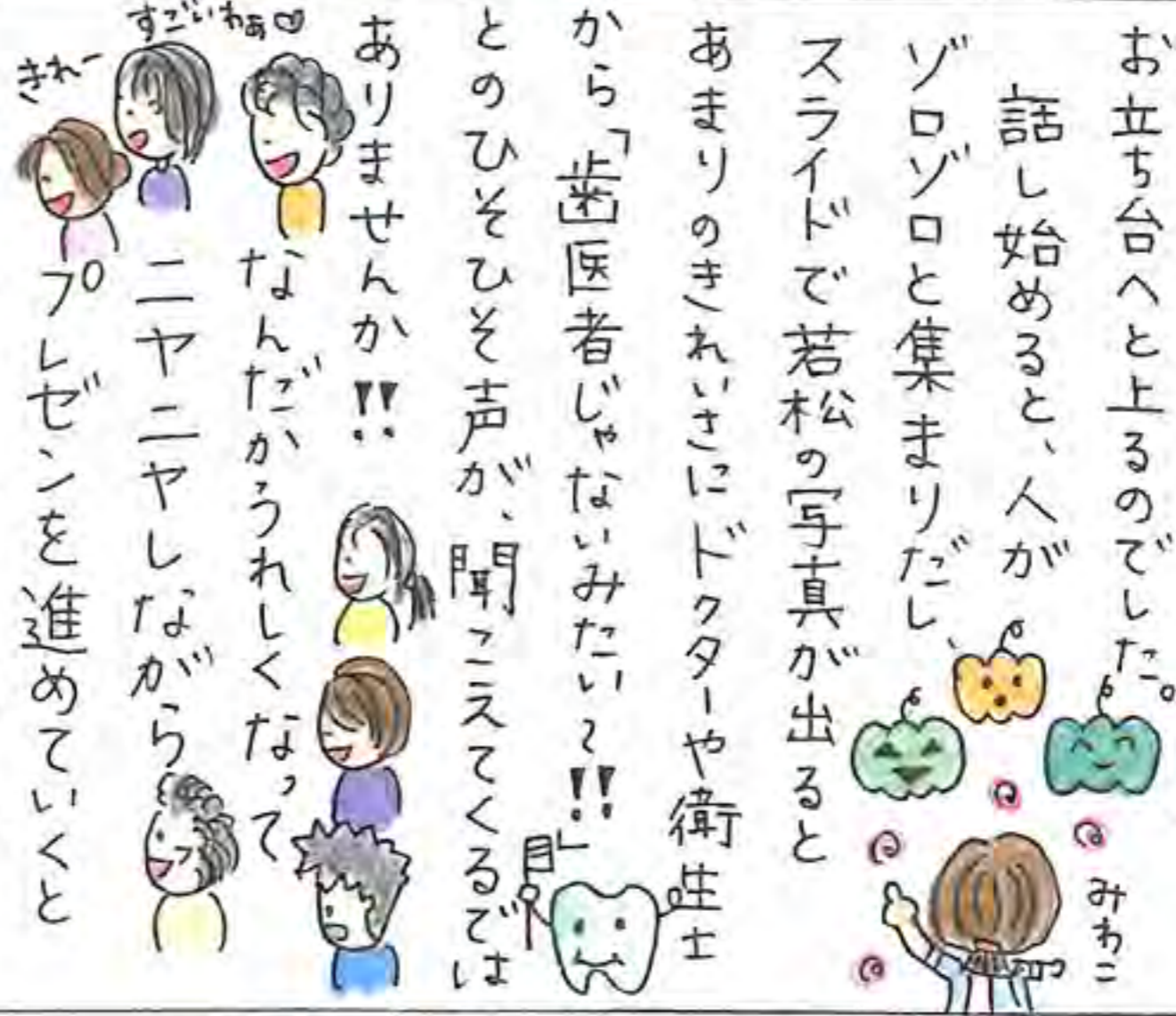
きて、舌が回らず、かみ

まくリ。

身振り手振りのジェスチャーを交え

ながら、なんとかメインテーマの

「お口の未来予想図」という先生



が制作したソフトの説明をし始め

たところには、黒山の人だかりになっ

ていました。

50人を超える歯科衛生士やドク

ターが真剣に私の話を聞いてくれ

いると思うと、なんだか

アイドルになったよう

気分は上々!!

私って、歌って踊れる

歯科衛生士になれるかなあ?

なんて考える余裕もでき

15分の持ち時間も、あという間に

クライマックスへと突入したのでした。

最後の締めは、衛生士の本当の役

割(「患者さんに正しい情報を提供

し、健康で楽しい生活を送れるよう

に導くこと)のすばらしさを伝え、

拍手喝采を浴びたのでした。



羽立日の日曜日は、

先生と一緒に3人で会場へ

向かうはずが...

若干い名が大遅刻!

犯人は誰か? は、秘密ですが

フェイスニerlandへの大渋滞に巻き

込まれ、超ヒヤヒヤ!

講演の5分前に何とかすべりこみ、

ミーティングをすっぽかし、再びぶっ

け本番となりました。

二日目は、さらに混雑している中で

若松のドクターヤスタフ、

学生時代の同級生にも声

をかけられ、さらにやる気

合計7回の講演を無事終え

ると、先生は「一番人を集めていたぞ!!」

とニコニコしながら言っていました。



さらに、クロスフィールドの社長さんが、

「いやあ、クレームが出ましたよ!!」

と言っているではありませんか!!

なんでクレームが出たのに

笑っているのか不思議に

思っているところ、さらに、

笑顔で社長さんは、

苦情内容を説明

してくれました。

「あまりの集客で通路が通れな

いとか、「隣のブースに迷った!

などであったらしく、

「こんなことは、

実に名誉なことだ!

上機嫌なのでした。

東京デニタルショーでは、延べにする



と、夕分50人以上が

私たちの講演を聴いて

くれたのではないかと

思います。

「つら若き乙女のお肌を犠牲にし

てまでの準備。一生懸命練習した

発表が、歯科界に一石を投じたか

どうかは、定かではありませんが、何人

かは「若松の予防の取り組みに共感バ

してくれました」と思うと... ④

「若松23歳の小娘にしては、上出来だ

ったのではないでしようか。

「これからも、若松で、皆さんと

「より健康で楽しくいられるよう」

がんばろうと田んいながら、

帰り道は、先生の車の中で

爆睡したのでした。

